

# 戸田市 施策評価シート

作成日	令和 3年 6月24日	作成者名	山崎 康之	評価者名	小野 康平
-----	-------------	------	-------	------	-------

## 1. 施策の位置づけ <PLAN>

基本目標	05 快適で過ごしやすいまち	中心となる課	都市整備部・道路管理課
分野	03 道路	関係課	都市整備部・都市交通課
施策	52 安全な生活道路の整備		
施策の目的	地域住民の暮らしの基盤となる生活道路の整備により、市民が安心して通行できる安全で快適な道路空間の実現を目指します。		

## 2. 施策の主な取り組み <DO>

取り組み①	道路維持管理補修事業
取り組み②	
取り組み③	
取り組み④	
取り組み⑤	
その他の取り組み	
その他の取り組み	

## 3. 施策の指標における成果（主な指標）<CHECK>

指標名	指標の説明 (算定式)	単位	目標値	達成値					
				H27	H28	H29	H30	R1	R2
通行の快適性の維持	道路補修工事累計延長	km	8.5	1.7	3.6	5.6	6.8	8.1	10.3
道路空間の充実	道路照明灯のLED化 (LED道路照明灯数/全道路照明灯数)	%	92	40	49	85	86	87	87
公共座標の更新	公共座標を世界測地系2011に更新する	工程	3	1	1	1	1	2	3
その他施策の取組事項に係る成果									

## 4. 施策の展開 <ACTION>

課題	市道の舗装については、良好な道路環境の整備を行うため、予防保全型の道路補修を計画的に実施することや緊急措置を必要とする舗装等の損傷を効果的・効率的に補修することが求められている。 また、交通安全施設も経年劣化が進んでいるため、適切な維持管理を行っていくと共に、通学路等における歩行者の安全性の向上が求められている。 さらに、道路(官民)境界等の道路情報を充実させ、正確かつ迅速に活用できるようにする必要がある。	対応策	舗装の損傷については、路面性状調査等により舗装維持修繕計画を策定し、路面損傷度の高い路線から予防保全型の維持管理に努める。また、道路巡回パトロール等により発見した緊急性の高い箇所については迅速に補修を行う。 交通安全施設については、計画的に点検等を行うとともに歩行者の安全を優先とした道路環境の整備に努める。 道路情報については、官民境界指導線の作成を行い、官民境界確定業務の効率化及びコスト縮減を図る。
----	---	-----	--

## ○結果と今後の方向性 (シート作成次長記入)

進捗状況 (A 躍進中、B 予定通り、C 遅れ気味)	説明 (総評)	道路補修工事については、予定どおり進めることができた。 道路照明灯のLED化については、計画的に更新を進めることができたが、橋梁上にあるデザイン灯等については若干遅れ気味である。 公共座標の更新については、1級から4級基準点の更新を予定どおり完了した。
B		
今後の方向性(人員/予算) (↑増加、→維持、↓削減)	説明 (人員/予算)	舗装については、予防保全型の維持管理に努めているが、近年、補修や更新を必要とする道路附属施設も増加しているため、効率的かつ効果的な維持管理を行う予算が必要となる。 また、街路樹や排水施設等の道路環境に対する要望も多く、適切に維持管理を行うためには現在の人員は必要不可欠である。
→		

## (評価者コメント)

既存の道路施設の補修や更新など、道路巡回パトロールと併せて必要な措置を実施することにより、道路環境の改善に努め、利用者の安全性や快適性の向上に取り組んでいく。また、道路附属物についても、必要な点検を実施し、安全で合理的な管理を目指します。
---



# 戸田市 施策評価シート

作成日	令和 3年 6月24日	作成者名	山崎 康之	評価者名	小野 康平
-----	-------------	------	-------	------	-------

## 5. 事務事業の検討 【一般会計】

(単位：千円)

大 事 業	中 事 業	事務事業名		事務事業評価の結果								★事務事業の方向性			R 4 予 算 額	事業費  うち 一般財源			
		事業コード		事業 区分	R 4 計 画 額	R2 決算 額	R3 予算 額	評価結果					事業 の 方 向 性	実 施 計 画 候 補			施 策 内 優 先 度	コメント	
		事業内容						事業 の 方 向 性	実 施 計 画 候 補	施 策 へ の 貢 献 度	経 費 水 準	事 業 手 法							受 益 ・ 負 担 の 公 平 性
01 道路維持補修事業 (道路管理課)																			
	01	道路維持管理補修事業		義務	129,453	4	○	B	A	B	B	4	○	終	R3に各補修事業を統合し、道路補修事業に名称変更。また、R4に橋梁補修事業を統合する予定	0			
	01	08	02		98											01	01	194,264	0
	維持補修事業は、道路及び道路付属物を良好な状態に長期				209,539											0			
	道路付属物を良好な状態に長期				12,463											0			
	02	緊急道路補修事業		義務	67,912	9		A	B	B	B	9	終	R3に道路維持管理補修事業へ統合	0				
	01	08	02		98										01	02	0	0	
	道路施設等に緊急性を要する				0										0				
	事態が発生した際、民間企業				0										0				
02 道路環境管理事業 (道路管理課)																			
	01	道路排水施設管理事業		義務	20,286	9		B	B	B	B	9	終	R3に交通安全施設維持管理事業へ統合	0				
	01	08	02		98										02	01	0	0	
	道路附属施設である雨水排水設備の清掃並びに道路の除雪				0										0				
	道路施設管理事業				41,885										0				
	02	道路施設管理事業		義務	0	9		B	B	B	B	9	終	R3に交通安全施設維持管理事業へ統合	0				
	01	08	02		98										02	02	0	0	
	国土交通省荒川左岸堤防戸田市兼用部分や市道路肩等の除				0										0				
	雪				0										0				
計 (千円)					事業費	509,908	R2決算額	554,336	R3予算額	674,202	R4計画額	0	R4予算額	0					
					うち一般財源	310,347		234,148		466,014		0							

事業の方向性： 1 現状で継続    2 拡大して継続    3 縮小して継続    4 他事業と統合    5 休止    6 その他見直し  
 7 令和4年度で終了    8 令和3年度で終了    9 令和2年度で終了